



帯広市では、社会総掛かりで子どもの学びと育ちを支える仕組みづくりを進めています。コミュニティ・スクール（CS）は、学校・家庭・地域が目標を共有して、ともに子どもを育てていく取り組みです。

令和5年度 第2回コミュニティ・スクール研修会を開催しました

令和5年10月13日(金)に、学校のCS委員やPTA、教職員等を対象としたコミュニティ・スクール研修会を開催しました。

大空学園義務教育学校のCSについて

前半は、大空学園義務教育学校長の村松正仁様より、義務教育学校で行っているCS協議会について、事例発表を行っていただきました。

大空学園は令和4年度に開校し、1～9年生まで幅広い学年があるため、行事や教育課程を工夫していること、CS協議会では、学校教育目標について重点的に議論を行い、子どもたちの成長や地域の状況に合わせて目標を見直していくことなどをお話しいただきました。他に、CS協議会の特徴として、大空学園を卒業した高校生にアドバイザーとして参加してもらい、在学中に感じた学校の良いところや悪いところを教えてもらうことで、児童生徒に近い年齢の意見を取り入れた熟議にしているという工夫をご紹介いただきました。

また、CS協議会委員の活動として、授業参観や各行事に参加し子どもたちの姿を見たり、地域から挙げられた課題について熟議したり、学校の困りごとを地域に共有しお手伝いいただいていることなどをご紹介いただきました。

研修会の参加者からは、「今年初めて委員になったので、CSが何をするのかよくわかって大変参考になった」という感想をいただきました。



グループでの情報交換

後半は、参加者に学校の異なる3～5人のグループになっていただき、情報交換を行いました。学校支援アドバイザーの保前明美様に熟議の目的ややり方をご説明いただいた後、「今、地域の学校で起こっていること・課題となることについて話し合おう」をテーマに意見を出し合いました。

40分ほど各グループで意見交換を行い、課題や解決策を見つけ、発表していただきました。



課題

- ・異世代交流の機会が少ない
- ・学校と地域の連携
- ・情報が聞こえてこない



解決方法

- ・地域と協力し機会を増やす
- ・CSの会議で話し合う
- ・回覧板や安心安全メールの活用



終始、活発に意見が交わされ、講師の保前様から「ぜひ今回の話し合いを地域に持ち帰り、学校と一緒に『いい学校づくり』に活かしてほしい。」とお話しいただき、研修会を終えました。

研修会に関するアンケートからご意見を紹介します

研修後のアンケートでは、様々なご意見をいただきました。一部ではありますが、ご紹介します。

「他校の様子や活動を知り、課題を確認できました。色々刺激があり、参考になりました。」

「それぞれの地域で共通した課題が見えて、その解決の糸口を考えることができたことが良かったです。」

「グループの方とお話することで、今後の活動の新たなヒントがもらえました。」

皆様からいただいたご意見を今後の研修会などの参考にさせていただきます。アンケートにご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

R6年度研修会について

令和6年度は、第1回に新規委員向けのCSの基本的な研修会を予定しています。第2回以降は、コーディネーター向けの基礎～応用的な内容を学ぶことができる研修を複数回に分けて実施予定です。

ぜひ、ご参加ください。
(詳細は別途ご案内します)

【発行・問合せ先】

帯広市教育委員会 学校教育部 教育総務室 学校地域連携課

TEL：0155-65-4162

Email：school_cooperation@city.obihiro.hokkaido.jp

帯広市 コミュニティ・スクール

検索

(令和6年3月29日発行)

